

○第231回動物用医薬品専門調査会議事概要メモ（非公開）

日時：令和2年6月24日（水） 14：00～15：10

議事概要

（1）動物用医薬品（トルトラズリル、グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤（バイコックス アイアン注射液））に係る食品健康影響評価について

・グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤（バイコックス アイアン注射液）

審議の結果、「本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。」とすることが了承され、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとされた。

・トルトラズリル

審議の結果、トルトラズリルの一日摂取許容量(ADI)を0.01 mg/kg 体重/日とすることが了承され、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとされた。

\*1 グレプトフェロン溶液（鉄を含有）及びトルトラズリルを有効成分とする子豚の配合注射剤（バイコックス アイアン注射液）：

鉄剤及び抗寄生虫剤を一つの製剤に配合した子豚の注射剤です。

\*2 トルトラズリル：

コクシジウム病の予防及び治療のための抗寄生虫剤で、日本国内で動物用医薬品として承認されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。